

令和8年度 授業科目 教育方法・情報通信技術活用

〈様式1〉 ※各回のテーマに関わる内容について事前に該当する複数のテキストの関連個所を各自で読み解き、各回ごとに要点をまとめたものをスクーリング時に持参してください。

予習日・時間（ 年 月 日 分間）

W162「教育方法・情報通信技術活用」の予習ノート（第 章）

学科 学籍番号 氏名

【課題】 テキストを読んで、重要な事項の行をマーカーで記したあとで、要点を下記の枠内にまとめましょう。

テキスト名：
第 章

【課題】 テキストを読んでみて、理解できなかったことがありましたか。下の枠に書き留めておきましょう。

令和8年度 レポート課題解答欄

授業科目 W162 教育方法・情報通信技術活用論 課題名 第1課題 第1設題

※この用紙をコピーし、解答を記入して、「その他のレポート送付について」により送付してください。

〈様式2〉

授業パッケージ（学習指導案）制作シート

令和 年 月 日 授業者：所属 学籍番号 [] 氏名 []

1. 園・学校種、対象学年、教科、単元 or 題材、授業テーマを記す。

園・学校名	学年	教科	単元 or 題材	テーマ

2. 学習者観（対象としている学習者の前提条件（これまでに学習し、経験していること、得意・不得意など事前の実態を想定して記す）

--

3. 教材観（取り入れた教材が目標の達成にどのように有効か、その教材の特徴と価値を記す）

--

4. 指導観（どのように指導することが最善の方策か、情報通信技術をどのように活用するかを記す）

①どのように指導することが最善の方策か

②情報通信技術をどのように活用するか

5. 単元計画（何時間扱いか、各時間のテーマを記し、そのうち、本時は何時間目かを記す）

--

6. 学習目標（この1時間の授業で達成させたい目標を目標に到達したことを確認できるように、学習者の姿として具体的行動として記す）

--

7. 授業展開（学習者の思考活動がスムーズに流れるように、ガニエの9教授事象（導入でG 1、G 2、G 3、展開でG 4、G 5、G 6、G 7、まとめでG 8、G 9）に該当する具体的な働きかけをすべて盛り込む。また、学習意欲を喚起し、それを持続させるために、ARSC動機づけモデル（A 1～S 3）の手だての中から適したものを選び、それぞれの具体的な手立てを留意点欄に盛り込む。さらに、発問、予想される反応と対応策、板書計画、ペア学習・グループ学習、情報機器（メディア）利用、診断的評価・形成的評価の評価方法を留意点欄に盛り込む。）

時配	授業者からの働きかけと学習内容・活動	指導上の留意点・評価（対話的学び、診断的評価、形成的評価も盛り込む）	情報通信技術の活用（その段階の目的達成に適したメディアを選び、活用方法について記述する）
導入 5分			
展開 35分 ↓ 40分			
まとめ 10分			

8. 総括的評価（「6. 学習目標」に掲げたそれぞれの目標に対応させて、どのような方法で、目標の達成状況を評価するかを記す）